

小規模企業景気動向調査 [2023年9月期調査]

～不安定な売上が続き、先行きに不透明感が強い小規模企業景況～

＜産業全体＞

9月期の産業全体の景況は、前月に比べて採算・資金繰りDIがわずかに改善したものの、売上額DIが小幅に悪化、業況DIはわずかに悪化した。一時的な売上回復とその反動減で売上が安定しない。取引先の業績悪化のため、売上が回復しない店舗もある等のコメントが見られた。大企業製造業の景況感は堅調さがある一方、小規模事業者の景況感は力強さに欠け、先行きに対する不透明感が依然として強い。

DI	8月	9月	前月比
売上額	8.9	5.6	▲3.3
採算	▲32.7	▲32.1	0.6
資金繰り	▲28.0	▲27.3	0.7
業況	▲19.1	▲20.3	▲12

＜製造業(食料品、繊維、機械・金属)＞ 生産が安定せず、売上回復を図ることができない製造業

製造業は、売上額DIが小幅に悪化し、採算DIがわずかに悪化した。取引先の廃業から、経営に苦慮しているとのコメントが目立った。食料品関連は、業況DIが小幅に改善した一方で、資金繰りDIが大幅に悪化。猛暑での原材料不足から生産が伸びせず、売上額DIは5期連続で悪化した。繊維関連は、資金繰りDIは小幅に改善したが、売上額・採算・業況DIが大幅に悪化した。業界として小ロットでの注文が増えており、売上高は伸び悩んでいる。機械・金属関連は、採算・資金繰りDIが小幅に改善したが、売上額DIは小幅に悪化し、前年同月比を下回った。

DI	8月	9月	前月比
売上額	6.8	3.7	▲3.1
採算	▲36.4	▲37.6	▲12
資金繰り	▲29.8	▲29.8	0.0
業況	▲23.8	▲24.2	▲0.4

＜建設業＞ 受注減少と人手不足が相まって、業況回復への道のりが遠い建設業

建設業は、採算・資金繰りDIが大幅に改善した一方で、売上額・業況DIが小幅に悪化した。売上額・業況DIは2期連続で悪化。人手不足から、高齢で退職した職員を再雇用する事業者もいる。顧客側で資材の高騰を見越し新築の発注が減っている、とのコメントがみられた。前年同月と比較すると、採算DIは2桁ポイント改善しているが、その他DIは5ポイント以内の改善に留まり、業況回復への道のりは遠い。

DI	8月	9月	前月比
売上額	7.6	4.8	▲2.8
採算	▲37.9	▲32.9	5.0
資金繰り	▲38.4	▲32.5	5.9
業況	▲23.4	▲25.8	▲2.4

＜小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)＞ 長引く酷暑と物価高による買い控えで、全DIが悪化した小売業

小売業は、全DIが小幅に悪化。売上額DIは2期連続、採算・業況DIは3期連続で悪化した。衣料品関連は、全DIが悪化し、特に採算・資金繰り・業況DIが大幅に悪化した。残暑が長引いているため、秋物衣料の仕入を抑えている、とのコメントがあった。食料品関連は、資金繰りDIがわずかに改善し、売上額DIが小幅に悪化した。酷暑により野菜の日焼け等が生じ、商品の入りが少ないとのコメントがあった。耐久消費財関連は、電化製品の買い控えが起きており、売上額・資金繰り・業況DIが小幅に悪化した。

DI	8月	9月	前月比
売上額	28	▲0.7	▲3.5
採算	▲35.9	▲37.9	▲20
資金繰り	▲29.5	▲32.4	▲2.9
業況	▲24.5	▲28.4	▲3.9

＜サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)＞ 需要が一服し、停滞感が強まるサービス業

サービス業は、採算・業況DIがわずかに改善し、売上額DIが小幅に悪化、資金繰りDIがわずかに悪化した。旅館関連は、全DIが悪化し、売上額・採算・資金繰りDIは小幅に悪化した。人手不足による機会ロスが、業績回復に影響を与えている。コスト高騰分の価格転嫁が進んでいない、とのコメントが見られた。クリーニング関連は、全DIが改善。特に業況DIが大幅に改善した。ホテルのリネンや、浴衣・法被等夏のイベント関連需要があった。理・美容関連は、採算・資金繰りDIがわずかに改善し、売上額DIが小幅に悪化。先月から横ばいの状態である。

DI	8月	9月	前月比
売上額	18.3	14.5	▲3.8
採算	▲20.7	▲19.9	0.8
資金繰り	▲14.1	▲14.6	▲0.5
業況	▲4.4	▲2.7	1.7

調査概要

- 調査対象: 全国302商工会の経営指導員(有効回答数: 236/回答率 78.1%)
- 調査時点: 2023年9月末
- 調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
- ※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。